

教育研究データ

1. 氏名	黒木 晶子		
2. 生年月	1969年9月		
3. 取得学位	教育学修士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2011年 10月～ 2012年2 月	①本学教養教育科目「人間科学基礎演習」の授業において、教員6人によるチームティーチングを行い、相互授業参観によって講義内容や講義の仕方の振り返りと改善を行う。(第14回授業「読書案内」のために、受講者の読書活動促進を目的とした文献案内の冊子を学科教員の協力を得て作成し、受講者に配布。)	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	1996年11 月	①日本語教育学会平成8年度第8回研究集会において、「大学院生に必要な日本語能力養成のための教材開発の試み—教材『表現文型』の作成を中心に—」の発表を行う。(共同発表)	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
①もみじ—ひろしまで学ぶにほんご—	共著	1993年3月	広島県
②日本語口語表現辞典	共著	2013年11 月	研究社
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
①反義語とは何か—より精密な意味記述のための一考察—	単著	1994年3月	『広島大学教育学部日本語教育学科紀要』第4号, 97-104
②日本語の文章における丁寧体と普通体の混用について—学術論文における謝辞の文章の分析を通して—	単著	2002年3月	『文教国文学』第46号, 90-106
③海外日本語教育実習における実習生の学びについて—実習報告書に書	単著	2013年3月	『文教・言語』第8号, 37-57

かかれていることの分析をとおして—			
④日本語の文章における丁寧体と普通体の混用に関する研究の概観—「混用」という用語の扱いについて—	単著	2015年2月	『文教国文学』第59号, 35-40
⑤保育者の言葉かけに関する考察—行為要求の発話に見られる言語形式の分析を中心に—	共著	2017年3月	『広島文教教育』第31巻, 79-85
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
①望ましい反義語辞典の条件についての一考察		1993年11月	中国四国教育学会第45回大会
②日本語の文章における丁寧体と普通体の混用について—読み手に働きかける文章の場合を中心に—		2015年10月	広島文教女子大学国文学会平成27年度研究集会
(4) 所属学会			
①日本語学会			
②日本語教育学会			
③日本語用論学会			
④中国四国教育学会			
⑤広島文教女子大学国文学会			